10年先のビルメン経営戦略

～今すぐ取り組む2つの課題～

① 総合評価方式の普及促進に対する
ビルメンテナンス企業としての対応準備策
② 最低賃金1,000円時代と
人手不足を乗り越える契約改定対策について

官公庁物件入札制度の変革、最低賃金大幅引き上げ
ビルメンテ学びナンス企業に与える影響は？
今から何を、何を準備する!!

ビルメンの明るい未来へ

主な内容

①総合評価方式の普及促進に対する
ビルメンテナンス企業としての対応準備策
- ◆ 総合評価方式の入札による受託者選定方法
- ◆ 適正なメンテナンスパートナー選択プロセス、方法
- ◆ ビル運用・管理のパートナー決定要件
- ◆ 受注決定後のパートナーの業務確認と評価

② 最低賃金1,000円時代と
人手不足を乗り越える契約改定対策について
- ◆ 賃金と雇用と品質
- ◆ 最低賃金1，000円時代の募集・採用は？
- ◆ 2025年までに何をやるべきか？

講師ご紹介

講師：松本卓三氏

商社在職中に、ビル清掃のマネジメントシステムやノウハウのライセンス事業を推進。後にビルメンテナンス企業にて、ファシリティーマネジメントによるアウトソーシングビジネスをゼロからスタート。現在は、指定管理者制度の応募支援や施設スタッフ研修も行われています。また、ビルメンテナンス・PPP（官民協働事業）関連の原稿執筆、各種講演や、ビルメンテナンス企業の経営支援・指導に注力されています。

（公社）全国ビルメンテナンス協会　専門委員として、官公庁契約担当者向けの「保全業務マネジメントセミナー」の講師として全国で講演されています。

日　時

9月12日（月）
13:30～16:30

定　員

120名

※申込書到着順で、定員に達し次第締め切らせていただきます。
※申込締切日　9月2日（金）

会　場

ビルメンテナンス会館　2階
荒川区西日暮里5-12-5
（最寄駅：JR線・千代田線「西日暮里」駅徒歩5分）

受講料

会員：無料　　一般：8,640円
※関東甲信越協会会員を含みます

～お申し込みは裏面をご覧ください～

事務局担当者　森：03-3805-7555

【主催】（公社）東京ビルメンテナンス協会　　【共催】(株)クリーンシステム科学研究所